

No.	該当項	該当箇所、項目等	意見	意見に関する考え方
1	詳細版 P31	6進捗管理 (3) 計画の見直しと 改善サイクル	世の中の激しい変化に対応するため、短期的対応にOODAサイクル、中長期的にPDCAサイクルを回して対応しているが、今回の第2期計画について全体を見てみると、課題に対して実施（やること）ばかりに目が向いているような気がする。どちらのサイクルを回すにしろ、課題に対して何が問題になって、それがどのような状況になっているか差を求めデータ化することにより、それに対してアクションを取るといったような取り組みをしないと、本質的な課題達成は難しいような気がする。世間でよく言われているPDCAのスタートはP(プラン)と思われがちだが、まず今の状況をしっかり見て分析し、うまくいっていない部分に対して解決策を考え実施するというC(チェック)が一番大切だと思う。第2期計画はそのような検討をされ計画しているとは思いますが、あまり先ばかり見ないで現状をしっかりと分析して取り組んでいただきたい。	ご指摘のとおり、DX推進には現状の把握や課題の分析を行い、データに基づいて改善を進めることが重要です。第2期計画の策定にあたって、これまでの取組状況や課題を整理したうえで施策を構成しており、今後の推進段階でもKPIの設定や進捗の可視化を通じて、継続的な見直しを行います。いただいたご意見を踏まえ、現状分析と課題の確認を丁寧に行いながら、課題解決につながるDX推進に努めてまいります。
2	概要版 P12	住民の利便性向上	マイナンバーカードを活用した行政サービスの充実	マイナンバーカードを活用した行政サービスの充実、市民の皆さまの利便性向上につながる重要な取組と位置づけております。セキュリティにも配慮しながら、オンラインでの申請手続の拡大や窓口での手続き時間の短縮など、カードを活用することで、より「早く・簡単に・便利に」行政サービスを利用していただける環境づくりに努めてまいります。
3	概要版 P12	新たな価値の創造	ペーパーレス会議に向けたデジタル機器の充実及び人材育成（研修等）	ペーパーレス会議の推進は、業務効率化だけでなく、環境負荷の軽減にもつながる重要な取組と認識しています。いただいたご意見を踏まえ、必要な環境の整備や職員研修取り組みを進めてまいります。
4	概要版 P12	デジタルを活用できる環境整備	スマートフォン教室の開催	スマートフォン教室の開催は、デジタルに不慣れな方を含め、誰もが行政サービスを利用しやすくなるための重要な取組と位置付けています。スマートフォンの基本操作から行政手続のオンライン利用まで、段階に応じ、民間の方にも協力をお願いしながら、地域の実情や参加者のニーズを踏まえながらデジタルに不安のある方の支援に努めてまいります。